

会計区分	01	一般会計
------	----	------

令和6年度 事業評価書

事業主体 03300000 建設水道部 土木課

大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目 KPI	07 土木費	04 都市計画費	04 公園費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！		健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合	目標値 (男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから				
小事業	10	都市公園整備事業		目標年度 令和6年度			

インプット	事業実施の背景にある課題	都市公園の老朽化による更新や公園の管理基準と市民ニーズの変化等による公園施設の改修・更新が求められている。また、都市公園法の改正により公民連携等による新たな運営管理手法の可能性が広がり、市民サービス向上のための運営手法について再検討が求められている。					
	対象	都市公園等の利用者					
	目的	清掃や施設の改修および保守点検等を行うことで、快適で安全な都市公園の維持と利用者数の増加を図る					
	概要	市民が安全で快適な憩いの場所として利用できる公園を維持するため、清掃や施設の改修および保守点検等を行う 前平公園の民間活力を利用した管理運営を進めていく。					
	事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06					
	予算額	160,243	101,510	105,075	155,473	122,745	
	決算額	110,527	94,390	90,929	126,059	119,833	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	2,594 /	1,794				

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
老朽化した公園リニューアル事業 の実施数	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	1	1	1

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
市民満足度調査による住みよいまちと感じる人の割合 (%)	目標値	75	75	75	75	75
	実績値	75.7	75	70.7	70.1	70.1

評価分析	実績	前平公園長寿命化工事 川合コミュニティ広場トイレ改修工事
	効果	前平公園他4公園の長寿命化事業の実施計画(社総金計画)を作成し事業化となった。また、前平公園の大型遊具を更新した。
	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	前平公園は、プロポーサル方式の発注形態により、前平公園の特徴を生かし、市民の休息・鑑賞・散歩・遊戯・運動等総合的な利用ができる公園であり大型複合遊具の整備ができた。
アウトカム	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	総合公園の大型遊具の更新であることから、市民へ大きなインパクトを与えることができた。
	実績からR07年度の事業の方向性	公園それぞれの特徴を活かした整備計画を実施する。 前平公園では、児童用遊具の更新、トイレの改修を実施する。

アウトプット

アウトカム

令和6年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	03300000	建設水道部 土木課
大事業	E1	6つのまちづくり宣言 目指す姿	地域再生 地域の魅力をアップデート！	款項目 KPI	07 土木費 04 都市計画費 04 公園費 120,000人 80.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる		
小事業	03	クリーンパートナー事業		目標年度	令和6年度



インプット	事業実施の背景にある課題	限られた予算の中で、公園等の公共施設の維持管理には限界があり、地域住民の協力が必要である。
	対象	公共施設にて清掃活動等を実施するボランティア団体。
	目的	公共施設への愛着をもって管理していただくことで公園利用者の増加を図るとともに維持管理費の縮減を図る。
	概要	都市公園などの公共施設において地域住民や市民団体、企業などが実施する維持管理活動を支援する。 ・清掃活動に必要な道具の貸出 ・ボラティア保険への加入 ・ごみ収集、除草後の回収、処理
	事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 1,550 1,550 2,180 2,100 1,750 決算額 762 1,077 1,313 1,321 1,364
アウトプット	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	451 / 30

実績	実績	登録団体数 61団体 活動報告書提出団体数 34団体 活動回数 398回 土木課備品貸出 8団体22回
	効果	道路路肩や使用していない花壇などに花を植えたいとの要望があり、クリーンパートナー団体に登録し、市民自らが率先して美化活動に参加している、



評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	昨年度、数値未達成のために、R6年度は活発に取材活動に取り組んだ結果、目標値を達成出来た。
	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	自分の住む町は美しくありたいとの意思のもとクリーンパートナー登録をした団体があり、登録団体数が目標値を達成した。
アウトカム	実績からR07年度の事業の方向性	令和7年度から積極的な情報発信として、インスタグラムを使用した活動記録を発信する。

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
HP等を活用したクリーンパートナー活動の年間紹介数	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	6	16	12	9	13

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
クリーンパートナー登録団体数	目標値	51	52	54	58	60
	実績値	51	53	57	59	61

会計区分	01	一般会計
------	----	------

令和6年度 事業評価書

事業主体	03300000	建設水道部 土木課
------	----------	-----------

大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目 KPI	07 土木費	04 都市計画費	04 公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！				
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる				
小事業	04	かわまちづくり整備事業		目標年度	令和6年度		

インプット

事業実施の背景にある課題	かわまちづくり基本計画の目標である、拠点（美濃太田駅、中山道会館、リバーポートパーク美濃加茂）の賑わいの創出及び拠点間の連携によるエリア全体の活性化（地域資源を活かした賑わいと学び）が達成できていない。
対象	木曽川河川利用者、周辺住民
目的	市民や施設利用者の意見を反映した事業を実施することで、かわまちづくりエリアの賑わいと憩いの場の創出につなげる
概要	リバーポートパーク美濃加茂が賑わうよう運営管理する指定管理者とともに事業を計画、実施する
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	40,543 34,754 29,852 24,871 25,410
決算額	38,173 30,102 29,051 23,126 24,580
年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	593 / 0

アウトプット

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
イベント等まちづくりに関する取り組み実績回数（回）	目標値				35	90
	実績値				91	157

アウトカム

KPI（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
リバーポートパーク来訪者数	目標値				130,000	130,000
	実績値				180,300	192,700

実績

実績	・イベントの開催回数157回 ・パーク来訪者数192,700人 木曽川中流域合同イベント：「ワンパークリバーフェス」「river to summit」、リサイクル市場：「超絶蚤の市」等
効果	中之島公園来園者数が想定以上となった。

評価分析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	指定管理者がHP、ブログ、FB、インスタ、LINE、X、Googleを利用しPRを行った結果、認知度が広がり想定以上のイベントが実施された。
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	ソフト事業が充実したこと、想定以上の賑わいの創出ができた。
実績からR07年度の事業の方向性	イベント実施は飽和状態に近くなっているため、継続できるソフトハード事業を展開しつつ、新たな価値観を体験できる事業を充実する。

令和6年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	03300000	建設水道部 土木課
大事業	E1	6つのまちづくり宣言 地域再生	款項目 KPI	07 土木費	04 都市計画費
		目指す姿 地域的魅力をアップデート！		あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合	04 公園費 目標値 120,000人 80.0%
中事業	01	主要な取り組み みんなのまちを、みんなでつくる			
小事業	05	Kisoジオパークにぎわい創出事業（定住）	目標年度 令和6年度		

インプット	事業実施の背景にある課題	氾濫や増水から人々の暮らしを守るために河川改修や堤防の築堤により、人々の安心・安全な生活は確保され、豊かな生活が出来るようになった一方で、生活水準の向上に伴い人々と川との関わりは少なくなった。また、暮らしの中で木曽川の恩恵を直接享受している世代（60代以上）が存在している今こそが、地域特有の文化（川の文化）を継承できるラストチャンスである。
	対象	圏域住民
	目的	川の持つ楽しさや魅力を伝える一方で、川が持つ危険性や万が一危険な状況が起きた場合の対処法などを地域の方（子供たち）にわかりやすく伝え、事故を防ぐための啓発を行うとともに、木曽川への親水性を高め、賑わいのある河畔空間を創出し、「人と川の素敵な関係がうまれるまち」を圏域の特徴として、川のある暮らしを未来に継承していく人と人の繋がりをつくることを目的とする。
	概要	河畔空間の魅力向上のための整備や、川のリスクマネージメント・川のある暮らしを体験できるプログラムを企画・実施していく。
	事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
	予算額	7,724 17,800 10,994 18,949 9,118
	決算額	7,724 13,352 7,645 15,959 4,945
アウトプット	年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	503 / 0

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
イベント等まちづくりに関する取り組み実施回数（回）	目標値		34	35	36	37
	実績値		24	101	91	157

KPI（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
堤防道路の利用人数（人）	目標値		248,000	249,500	251,000	252,500
	実績値		236,037	249,350	268,300	271,747

実績	実績	イベント回数：157回、参加人数：77,000人 Kisoジオパークにぎわい創出事業としてのイベント： ・生き物講座（7回、参加者99人） ・子供アートワークショップ（1回、参加者100人） ・木曽川護岸堤防ソーラー街灯設置及び木曽川河畔遊歩道改修
	効果	堤防道路空間の改善による堤防利用環境の向上や、各種体験学習などのソフト事業が充実してきたことにより、木曽川河畔エリアの利用人数が増加している。 木曽川及び河畔の森などを活用した各種プログラムにより、川との良好な関係性が育まれ、「川のある暮らし」が新たな価値観として広がっています。
	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	指定管理者主催、市民団体主催のイベントを多く開催することができた。大規模イベントだけでなく、ホール等での小規模なイベントも実施。また、定期的に行っているイベントもあり、中之島公園がイベント開催場所としての認知度が上がったと考えられる。 魅力ある地域資源（木曽川及び河畔林）を探求することを目的とした親子で参加する「生き物講座」では、地域愛の醸成が促進された。 活動指標目標値の変更についてですが、イベント開催回数が近年当初の想定を大きく上回る結果となっている。これは運営手法や制度設計によるものであり、好循環が定着しつつあると考えられます。令和7年度からは、目標数を年間100回以上に維持することを目指した指標へ見直す。
評価分析	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	各種イベントを開催したことで、利用者が増加した。指定管理者とともに、引き続き中之島公園や木曽川河畔を使用したイベントを実施し、目標達成に努める。
	実績からR07年度の事業の方向性	木曽川周辺の自然を活用した自然体験学習や現代アートに触れる機会を得ることで、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力や新たな感性を育み、生きる力の基盤を育てると共に地域愛を醸成し、定住促進に寄与する事業であり継続して事業を進める。 堤防道路や木曽川河畔遊歩道の利用者に快適な河畔空間を提供するため、老朽化した舗装等の修繕を進める。 令和5年度まで実施していた圏域の小学生を対象とした川のリスクマネージメントが他部署（教育センター）に移管されました。小学生だけではなく広く体験・勉強できる公募による夏休み安全講習会についても、大きな効果が期待できるため、引き続き検討する。

アウトカム

令和6年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	03300000	建設水道部 土木課
大事業	E1	6つのまちづくり宣言 目指す姿	地域再生 地域の魅力をアップデート！	款項目 KPI	07 土木費 04 都市計画費 04 公園費
		主要な取り組み	地球とまちの環境を守る		あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合
小事業	04	ヤギさん除草事業		目標年度	令和6年度

インプット

事業実施の背景にある課題	ヤギ除草を施工する箇所は法面が急であり足場がないため、人力で行うと転落による事故の危険性がある。ヤギは急峻な場所でも容易に移動することができることから、法面での飼育に問題がなく有効に緑地管理を行うことができる。
対象	近隣市民、公園等利用者
目的	ヤギさんによる除草をすることで、環境に優しく低コストな手法による公共用地法面の保全
概要	環境に優しく低コストな法面除草の手法であるヤギさん除草をさくら広場などの公共緑地において実施する
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	7,400 7,400 10,092 9,720 10,022
決算額	7,205 7,348 9,999 9,608 9,955
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	342 / 0

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
ヤギさん除草のイベント回数	目標値	1	1	2	1	1
	実績値	0	1	1	2	2

アウトカム

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
ヤギさん除草の年間紹介回数	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	1	3	3	3	12

↓

実績	ヤギさん除草を実施（施工面積A = 3.4ha） ・さくら広場、給食センター北緑地 ・あじさいヶ丘3丁目法面 ・中部台パーク調整池 ・文化の森西緑地 ヤギさんイベント 2回
効果	緑地の適正管理 ヤギさん除草隊初日やヤギの日イベントのテレビ放送、新聞記事でヤギさん除草をきっかけとして市のPRになりました。

↓

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	春と秋にイベントを行い、市内外から多くの人々がヤギ除草を知つてもらうことができた。活動初日やイベントにはメディアからの取材があり、市のPRに繋がった。ヤギさん除草という形態が報道映えすると考えられる。
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	テレビや新聞からの取材が多くあり、ヤギさん除草をとおして美濃加茂市のPRとなつた。
実績からR07年度の事業の方向性	引き続きヤギさん除草を進め、緑地の適正管理及び美濃加茂市のPRを行う。 ヤギイベント 2回を予定。